



その1 この文献探してるんですけど?

勉強をする中で、先生や先輩から文献リストを渡されて、読んでくるようにと言われることはよくあることだと思います。そんな時、文献リストに書いてあることが良く分からないことはありませんか？眺めているとなんとなく人名やタイトルっぽい部分があるのがわかって、人名が2箇所に分かれて出てきたり、どこからどこまでがタイトルか雑誌名か区切りがわからなくなって、迷ってしまうことはありませんか？実は、見方にはポイントがあるのです。

「その1」では文献リストの見方のポイントをご説明します。

これは、インフルエンザに関する3つの文献のリストです。

■ 文献リスト ■

- 1) 廣田良夫. インフルエンザ対策と疫学研究. 加地正郎編. インフルエンザとかぜ症候群. 改訂2版. 東京:南山堂;2003:p.43-79.
- 2) 加地正郎. 新型インフルエンザ—その対応と心構え. 臨牀と研究. 2008;85(12):1677-80.
- 3) Treanor JJ, Campbell JD, Zangwill KM, Rowe T, Wolff M. Safety and immunogenicity of an inactivated subvirion influenza A (H5N1) vaccine. N Engl J Med. 2006;354(13):1343-51.

まず大まかに、文献には図書（本）と雑誌があります。文献リストを見て、どれが図書でどれが雑誌か見分けることが、文献にあたる最初の1歩になります。

文献リストには、「書誌情報」とよばれる情報（例：著者名、タイトルなど）が決まった順に並んでいます。図書と雑誌では、書誌情報の中身（構成要素）が異なるので、見分けられるのです。

<図書と雑誌の書誌の特徴>

		雑誌	図書
書誌の表記	出版者名	無	有
	巻・号数	有	無 [*]
特徴	内容	最新情報	体系的
	刊行頻度	定期的に継続	1回で完結

^{*} シリーズものは巻数がつく場合もある

では実際の文献リストで、どの部分が何の情報なのか詳しく見ていきましょう。

まず、図書の例を見ていきましょう。

章の著者名 **章のタイトル** **図書の編集者**
1) 廣田良夫. インフルエンザ対策と疫学研究. 加地正郎編.
インフルエンザとかぜ症候群. 改訂2版. 東京：南山堂；2003：p.43-79.
図書名 **版. 出版地：出版者** **出版年：ページ**

6つの書誌の要素で出来ているのわかりますか？
次に、雑誌の例です。

論文の著者名 **論文タイトル** **雑誌名**
2) 加地正郎. 新型インフルエンザーその対応と心構え. 臨床と研究.
2008；85(12)：1677-80.
出版年, 巻(号), ページ

見比べると図書の例にだけ **版. 出版地：出版者** や **図書の編集者** があるのわかります。

★**ここがポイント！**
図書の書誌には **版. 出版地：出版者** や **図書の編集者** の要素が入っています



これらの書誌要素は、医中誌 WEB や PubMed などのデータベースでも同じですが、若干並び順が異なることがあります。2) と 3) の文献例で実際に検索して比べてみましょう。

◆医中誌 WEB の例

2) 加地正郎. 新型インフルエンザーその対応と心構え. 臨床と研究.
2008；85(12)：1677-80.

医中誌WEB Japania Centra Revuo Medicina 1 2009071692 **論文タイトル**
【新型インフルエンザと季節性インフルエンザ】 新型インフルエンザ その対応と心構え(解説特集)
Author : 加地正郎(久留米大学) **論文の著者名**
Source : 臨床と研究(0021-4965) 85巻12号 Page1677-1680(2008.12)
雑誌名 **巻号 ページ(出版年.月)**

◆PubMed の例

3) Treanor JJ, Campbell JD, Zangwill KM, Rowe T, Wolff M. Safety and immunogenicity of an inactivated subvirion influenza A (H5N1) vaccine. N Engl J Med. 2006;354(13) : 1343-51.

PubMed **雑誌名** **出版年 月 日, 巻(号): ページ**
 1: N Engl J Med. 2006 Mar 30;354(13):1343-51. **NEJM** **LINKS**
FREE FULL TEXT
Safety and immunogenicity of an inactivated subvirion influenza A (H5N1) vaccine.
Treanor JJ, Campbell JD, Zangwill KM, Rowe T, Wolff M. **論文タイトル**
論文の著者名

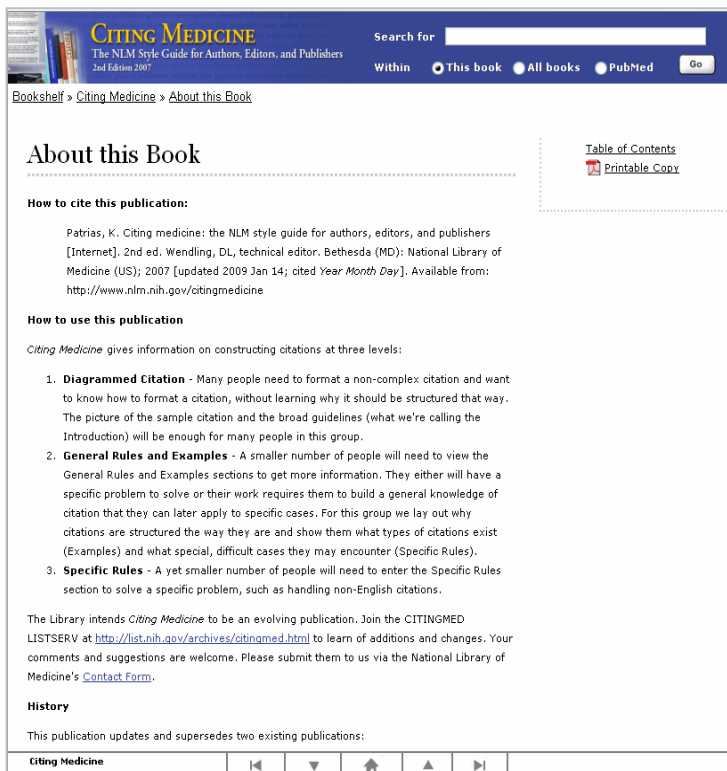
次に、医学分野の引用文献スタイルについてご説明します。

医学分野の引用文献スタイル

いくつかの例を見て、引用文献の書き方、要素の順番には、規則性があることに気がついたのではないのでしょうか？実はこの書き方、世界的にスタンダードなスタイルが基準となっているのです。

医学分野では「CITING MEDICINE」のスタイルを使うのが一般的です。

「CITING MEDICINE」とは、米国国立医学図書館（NLM）が作成した、引用文献の書き方を説明した資料です。



The screenshot shows the 'CITING MEDICINE' website interface. At the top, there is a search bar and navigation options like 'This book', 'All books', and 'PubMed'. The main content area is titled 'About this Book' and contains sections for 'How to cite this publication' and 'How to use this publication'. The 'How to cite this publication' section provides the full citation for the book. The 'How to use this publication' section explains that the book provides information on constructing citations at three levels: Diagrammed Citation, General Rules and Examples, and Specific Rules. A 'Table of Contents' and 'Printable Copy' link are also visible.

http://www.ncbi.nlm.nih.gov/bookshelf/br.fcgi?book=citmed&part=citmed_book_info

例えば、一般的に引用されることの多い雑誌論文の引用記述方法はもちろん、図書に収録されている論文、テクニカルレポート、特許、刊行されていない Letter や映像・音声資料、近年増えている CD-ROM やインターネットなどデジタル資料を引用する場合の書式まで収録されています。

「CITING MEDICINE」は下記 URL で公開されています。

CITING MEDICINE : The NLM Style Guide for Authors, Editors, and Publishers. (2nd.ed. 2007)
<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/bookres.fcgi/citmed>

また、「CITING MEDICINE」は、医学系の標準スタイルとして色々な雑誌で採用されています。あなたをよく読む、またはよく投稿する雑誌の投稿規定では、どう指定になっているかご存知ですか？一度確認してみたいかがでしょうか。

生物医学分野で国際的に広く使われている投稿規定「生物医学雑誌投稿に関する統一規定（通称バンクーバー スタイル）」¹⁾でも、参考文献のスタイル及び書式の項では「CITING MEDICINE」を参照するように書かれています。

また、NLM のスタイルは米国内の引用文献スタイルのデータ規格 ANSI/NISO Z39.29-2005²⁾ に採用されており、そのまま国際規格である ISO 規格にもなっています。

「CITING MEDICINE」では、引用文献をどう書けばよいか？ということについて、様々な場合に分けて具体的に解説しています。

その他の分野の引用文献スタイル

医学以外の分野でも、それぞれに標準的なスタイルが使われています。国際的に広く用いられている主な記述スタイルには右図のようなものがあります。

その他、日本では科学技術振興機構（JST）が「SIST 02 参照文献の書き方」³⁾という基準を公開しています。

SIST（Standards for Information of Science and Technology：科学技術情報流通技術基準）とは、文部科学省（旧科学技術庁）が1973年にISOの規格を元に設けた基準で、書誌記述データの標準化、二次情報化技術の標準化、科学技術用語の管理システムの確立、情報の発表、記録形式、記録伝達技術の標準化のために作られたものです。

国内では唯一の基準なので、学会誌等の投稿規程が作られる際に参考にされることがあります。

SIST 02 - 2007

付録：国際的な参照文献の記述スタイル

現在国際的に広く用いられている参照文献の記述スタイルとその制定団体、主に使用されている分野には次のようなものがある。

(1) NLM (MEDLINE) スタイル ⁴⁾	米国国立医学図書館	生医学分野
(2) ACS スタイル ⁵⁾	アメリカ化学会	化学分野
(3) IEEE スタイル ⁶⁾	米国電気・電子技術者協会	工学分野
(4) APA スタイル ⁷⁾	アメリカ心理学会	学際分野
(5) MLA スタイル ⁸⁾	米国現代言語協会	人文・社会科学分野

これらのスタイルの書誌要素の記述の順序と記述形式をSISTで推奨するスタイルと合わせて、雑誌論文（英文）に関して比較すると下表のようになる。

スタイル種別	著者	発行年	題名	誌名	発行年	巻	号	発行年	ページ	発行年
NLM	author		title	journal title	2005	25	(3)		21-33	
ACS	author		title	journal title	2005	25	(3)		21-33	
IEEE	author		"title"	journal title		vol. 25			pp. 21-33	2005
APA	author (2005)		title	journal title		25	(3)		21-33	
MLA	author		"title"	journal title		25	3 (2005)		21-33	
SIST 02	完全形	author	title	journal title	2005	vol. 25	no. 3		p. 21-33	
	簡略形	author	title	journal title	2005	25	(3)		p. 21-33	

以下に雑誌論文の国際スタイルによる記述例と特徴を示す。

(1) NLM スタイル
Andersson F.I., Blakytyn R., Clarke A.K. Cyanobacterial ClpC/HSP100 protein displays intrinsic chaperone activity. *J. Biol. Chem.* 2006 Mar 3;281(9):5468-75.
(著者の姓以外はイニシャルのみで、イニシャル間の区切りはない。雑誌名略記のピリオドは記載しない。書体は指定しない。ページ数は省略スタイル。)

(2) ACS スタイル
Andersson, Fredrik I.; Blakytyn, Robert; Clarke, Adrian K. Cyanobacterial ClpC/HSP100 protein displays intrinsic chaperone activity. *J. Biol. Chem.* 2006, 281(9), 5468-5475.
(発行年については説明なし。雑誌名と巻数はイタリック。発行年は太字。)

(3) IEEE スタイル
F. I. Andersson, R. Blakytyn and A. K. Clarke, "Cyanobacterial ClpC/HSP100 protein displays intrinsic chaperone activity," *J. Biol. Chem.*, vol. 281, pp. 5468-5475, Mar. 3, 2006.
(著者名は例示しない。vol. を使用。号については説明なし。タイトルは引用符で囲む。発行年月日は最後。)

(4) APA スタイル
Andersson, F. I., Blakytyn, R., & Clarke, A. K. (2006). Cyanobacterial ClpC/HSP100 protein displays intrinsic chaperone activity. *J. Biol. Chem.* 281(9), 5468-5475.
(発行年は著者名の後。雑誌名と巻数はイタリック。)

(5) MLA スタイル
Andersson, Fredrik I., Blakytyn, Robert, and Clarke, Adrian K. "Cyanobacterial ClpC/HSP100 protein displays intrinsic chaperone activity." *Journal of Biological Chemistry* 281(2006): 5468-75.
(タイトルは引用符で囲む。雑誌名には下線を引く。発行年は巻数の後。ページ数は省略スタイル。)

- 31 -

http://sist-jst.jp/handbook/sist02_2007/main.htm より転載

データベースの検索結果

データベースの検索結果の書式も同じような基準を基に作られています。それぞれのデータベースで多少異なります。迷った時は、それぞれのデータベースの HELP ページで確認できます。

また雑誌名は省略されて書かれていることが多いので、フルタイトルは収載誌目録で確認します。収載誌目録は現在 WEB 上でも公開されています。

★医中誌収載誌目録 http://www.iamas.or.jp/web_help4/se_result.html (→冊子体もあり⁴⁾)

★List of serials indexed for online users (→冊子体もあり⁵⁾)

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/projects/linkout/journals/jourlists.fcgi?typeid=1&type=journals&operation=Show>

<参考資料>

1) International Committee of Medical Journal Editors. "Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals: Writing and Editing for Biomedical Publication (Vancouver Style)" Updated October 2008. <http://www.icmje.org/>

2) The American National Standards Institute. "ANSI/NISO Z39.29 - Bibliographic References". The National Information Standards Organization. 2009-1-29.

http://www.niso.org/kst/reports/standards?step=2&gid=&project_key=87775a75d6ea19921a41d75b2fb012b0d6339b3a

3) 科学技術振興機構. "SIST 02 参照文献の書き方". 科学技術情報流通技術基準. http://sist-jst.jp/handbook/sist02_2007/main.htm

4) 医学中央雑誌刊行会. 醫學中央雑誌収載誌目録. 2009, 医学中央雑誌刊行会, 2009, 330p

5) National Library of Medicine. List of serials indexed for online users. 2008, National Library of Medicine, 2008, 334p

医学情報の達人 初級編 配布用ダイジェスト版 その1 「この文献探してるんですけど？」

(C)東邦大学医学メディアセンター 2009年9月1日発行